



久保井 永三  
(統一)

**原因特定と対応を  
土壌汚染の更なる**

**問** 冒険活動センターの土壌汚染対策費として、1億800万円の補正予算が29年6月議会に計上されたことは一歩前進であるが、土壌汚染の原因特定は困難であり調査を終了することである。さらなる調査をしても、原因特定につながるデータの取得は難しいとのことだが、どのようなデータを指しているのか。また、原因特定は困難であると簡単に結論づけているが、実施した調査の内容について聞く。

また、28年12月議会会で質問した通り平出工業団地で土壌調査を行ったところ、鉛の含有量が基準値を超過していたが今後どのように対応するのか。

**答** 原因特定につながるデータとは、冒険活動センター土壌の鉛と近隣工場の集じん灰の関連性を調査するための科学的データを指し、過去のデータ取得に必要な集じん灰の入手や調査は、困難である。調査は、鉛の原子レベルまでの解析など6項目を実施し、4名の有識者から調査内容や結果の総括について2回意見を聞いた。

平出工業団地公園などの土壌や団地内の地下水調査を行った結果、鉛の基準適合を確認している。現在、同団地の企業から相談は寄せられていないが、土壌汚染対策法の周知や土地の適正管理に関する助言を行っている。

**その他の質問項目**

- ①ラウンドアバウトや無電柱化の現状と今後の計画②障がい者施設などでのサービス給付費の不正請求および虐待③建設機械、建設車両、農機具、一般車両の盗難とヤードの関係④上下水道の更新事業と旧管の処分など⑤災害時用浅層地下水井戸の常備と推奨など



金崎 芙美子  
(自民党)

**LRTで  
ワンダーランドの  
形成を**

**問** 子どもたちがLRTに乗ることで、いろいろな人々に出会い、不思議な旅のような経験ができる環境をつくることは重要である。LRT沿線に誰もが集い、楽しめ、魅力ある、宇都宮ワンダーランドをつくることで、LRTのブランド化が図られ、子どもや市民との交流が図られると期待できるのでは。

**答** LRT沿線には、鬼怒川の豊かな自然環境や、鬼怒川サイクリングルートなどがあり、これら地域資源を活かした魅力あふれる空間をつくることや、LRTと周辺環境

が一体となった景観形成を図ることは、LRTのブランド化や利用促進、市の魅力を高めるうえで効果的である。

宇都宮ワンダーランドのような、多くの市民がLRTに乗って、サイクリングや釣りに出かけたがり、車両基地ではLRTの運転手になったような体験ができたり、さらに、LRT車内で、地元の食材の飲食ができるような仕掛けづくりを行い、銀河鉄道よりわくわくするような乗り物にしたいと考えている。将来を担う子どもたちにも、夢や希望を持ってもらえるような魅力あふれるLRTと一体となった沿線のまちづくりに取り組んでいく。



**その他の質問項目**

- ①子育て支援(保育の質の確保、病児保育、産後ケア事業)②ドメスティックバイオレンスへの対応③食の安全確保④まちかどの学校における支援



福田 久美子  
(共産党)

**就学援助制度  
改善と効率化を**

**問** 就学援助制度について聞く。

①新小学校1年生に対する新入学学用品費の前倒し支給については、どこまで検討が進んでいるのか。

②就学援助費の認定は、所得調査を基本に、民生委員の訪問調査も参考にしながら行っている。28年度の包括外部監査報告書において指摘があったとおり、所得調査の結果を受けて訪問が必要な世帯を限定するなど、民生委員の訪問調査を効率化すべきと考えるがどうか。

**答** ①新入学学用品費の前倒し支給については、就学前の申請となり、学

校を通じた手続きがなくなるため、新たな制度周知や、効率的な審査、認定を行っていく必要がある。現在、教育委員会が窓口となり手続きを行うことなどを検討しているところであり、早期の実現に向けて取り組んでいく。

②本市では民生委員・児童委員が申請世帯を訪問し、家庭状況の調査を行っているが、包括外部監査における意見を踏まえるとともに、新小学校1年生に対する新入学学用品費の前倒し支給の実施にあたっては、より効率的な審査、認定を行っていく必要があると考えている。現在、見直しに向けて検討している。

**その他の質問項目**

- ①指定管理者制度②生活困窮者への支援(相談業務の集約化と庁内及び関係機関との連携、一時生活支援事業)③保育をめぐる問題(保育士の処遇改善、待機児童、保育の質の確保と安全対策ほか)④清原地域への農産物直売所の設置⑤LRTと市民のくらし